

14.5

14. 5-761



1200501213495

61



始



14.5

76

東京府名勝天然紀念物調査報告

第八冊

昭和六年三月



東京府名勝天然紀念物調査報告

「荒川堤の櫻」

第八冊



發行所寄贈本

東京府

14.5-761

緒言

史蹟名勝天然紀念物の調査保存は國民性の涵養上尤も重要なことである。特に吾國の如き光輝ある歴史を持ち、天然の恩恵に富んで居る國民は、その歴史を物語る史蹟と天然に恵まれた名勝天然紀念物を保存することに依つて、精神修養に資益する所少くない。

本府は武藏國の大半を領して、關東平原の中央に位し、山川平野相半ばして居るが、明治維新以來我國の首都として人烟日に激増し、街巷益々擴張して、郷土の史蹟名勝や、天然の風致を捐滅に歸せしめることもまた少くない。特に名勝天然紀念物の如きは近代都市の發達に伴うて却つてその舊時の面影を失ひつゝあることは誠に遺憾のことである。

曩に史蹟名勝天然紀念物保存法の施行によつて、保存指定を経た名勝天然紀念物は相當の數に上つて居る。その内府下の名勝として都人士の知悉せるものは荒川堤櫻と小金井の櫻である。是等の名勝は其の主とするものは老樹花木である爲めに、星霜の推移と自然の壓迫によつて漸次その

美觀を減少する傾向を免れない。

此に本府は其の管理に屬する荒川堤櫻の調査を斯界の權威者理學博士三好學氏に委囑して其の結果を報告し、史蹟名勝保存の主旨を普及し、その現狀を永久に傳へんことをするものである。

昭和六年三月

東京府

序言

荒川の櫻堤が史蹟名勝天然紀念物保存法により大正十三年十二月名勝として指定せられたるは、古來の名櫻を集植したるによる。

同堤の櫻に關しては曩に圖說せるものあるも、指定後十年の今日にては堤上櫻樹の枯損せるもの少からず、爲に舊時とは頗る其景觀を變ずるに至れり。今本報告には同櫻堤と其櫻品の來歴を述べ、且昨年の花期に實地調査せる所により現在の櫻品を擧げ併せて將來の保護に關して注意すべき事項を記載せり。

昭和六年三月三日

三好學

東京府名勝天然紀念物調査報告第八册

「荒川堤の櫻」

目次

櫻樹栽植の顛末	一頁
櫻品の來歴	八
櫻品の記載	〇
一 里櫻性	一
一 白花	一
一 綠芽	一
虎の尾	一
早晩山	一
雨宿	一
白妙	一
2 茶芽	一

御衣黃 二二
 四有毛 二二
 1 白花 二三
 薄 墨 二三
 白 雪 二三
 2 紅花 二三
 高 砂 二三
 五 匂 櫻 二三
 細川 匂 二三
 千里 香 二三
 萬里 香 二三
 滿 月 二三
 駿河臺 匂 二四
 瀧 匂 二四
 上 匂 二四

楊貴妃 一八
 麒麟 一八
 南 天 一九
 紅 尾 一九
 絲 括 一九
 3 赤 芽 一九
 嵐 山 一九
 便 殿 二〇
 紫 櫻 二〇
 長州緋櫻 二〇
 關 山 二〇
 增 山 二〇
 普賢象 二一
 三 綠 花 二一
 鬱 金 淺 黃 二一

六 上向	二四
天の川 七夕	二四
二 箒 櫻性	二五
箒 櫻	二五
猩 々	二五
泰山府君	二五
三 山 櫻性	二六
荒川 匂	二六
江北 匂	二六
櫻樹の保護	二六
荒川の櫻の主なる分植地	二七
文 献	二八

圖 版 目 次

名勝荒川堤櫻指定區域圖	(着色圖)
第一圖版 關 山	(同上)
第二圖版 王昭君	(同上)
第三圖版 白 妙	名月 (同上)
第四圖版 松 月	江戸 (同上)
第五圖版 一 葉	普賢象 (同上)
第六圖版 御衣黃	上 匂 (同上)
第七圖版 日 暮	
第八圖版 法輪寺	
第九圖版 紅虎の尾	
第十圖版 鬱 金	
第十一圖版 瀧 匂	
第十二圖版 箒 櫻	
第十三圖版 絲 括	
第十四圖版 天の川	

- 第十五圖版 關山
- 第十六圖版 祇女
- 第十七圖版 荒川堤の櫻 指定地第一區 沼田
- 第十八圖版 荒川堤の櫻 指定地第二區 堀の内・鹿濱の境界
- 第十九圖版 荒川堤の櫻 指定地第二區 鹿濱
- 第二十圖版 荒川堤の櫻 指定地第二區 鹿濱
- 第二十一圖版 荒川堤の櫻 指定地第三區 鹿濱
- 第二十二圖版 荒川堤の櫻 指定地第三區 鹿濱



東京府天然紀念物調査報告

第八册

「荒川堤の櫻」

東京府囑託理學博士 三好學

櫻樹栽植の顛末

荒川堤の櫻は明治十九年同堤の改修工事の竣成せる時植ゑられたるものにして、主として里櫻の古來の名稱に屬するを特色とす。蓋し當時は染井吉野の尙珍重せられたるを以て同樹を植ゑんとするの議ありしも、村長清水謙吾氏は之を排し里櫻の優種を栽植することゝなれり。恰も好し此頃東京巢鴨傳中（でんちゆう）に高木孫右衛門と稱する種樹家あり、父の代より名櫻を栽培し、一々正確なる花銘を有せるを以て、清水氏は其種苗を購入して荒川堤上に列植せしめたり。當時の栽櫻の記事は同氏の著「昭代樂事」（明治二十一年出版）に載せたるが、今該書により櫻品と種苗の數とを擧ぐれば左の如し。

長州緋櫻	普賢象	淺黃櫻	有明櫻	長州	一葉	金輪寺白妙
大 繕	天 川	常 香	瀧 匂	金剛山	鷺 尾	泰山府君
類 嵐	水 上	緋 櫻	麒 麟	彼岸枝垂	御車返	芳 野
白普賢	駿河臺匂	奈 良	苔清水	牡 丹	松 月	早晚山

熊谷	福祿壽	増山	鞍馬山	紅鴨	薄墨	上旬
楊貴妃	渦櫻	大南殿	蓬萊山	秋色	曉櫻	白墨
祇女	寒櫻	千里香	旗櫻	大芳野	白普賢象	江戸櫻
八重曙	都櫻	人丸	初花	孫普賢象	雨宿	絲縊
白八重大輪	法輪寺	桐谷	箒櫻	薩摩寒櫻	菊枝垂	大芝山
名月	御衣黃	手毬	日暮	白八重	細川旬	辨殿
朱雀	水無月	王昭君	小汐山	紫櫻	九重	猩猩
紅彼岸						

以上七十八種 櫻樹總數三千二百二十五本

表中大輪は大輪、絲縊は絲縊、括、辨殿は便殿の誤なり。

斯くして植ゑられたる櫻並木は江北村の南端西新井村に接する宮城に始まり、沼田・堀内を経て埼玉縣境なる鹿濱に至るまで延長約一里に達せり。

堤上の櫻並木は歲月と共に生長して、明治三十年頃には盛に開花するに至れり。當時は尙若木なりしも、反て老樹の如く損傷なく、發育旺盛にして健全なる枝に夥しく花を着けたれば美觀言ふべからず。此頃東京の櫻は概ね染井吉野にして唯上野には若干の彼岸櫻及枝垂櫻の大木あり、又市内の社寺及庭園に多少の里櫻其他の櫻の種類ありしに過ぎず。然るに荒川堤に新に多數の里櫻の出現せるにより、觀る者皆花色花形の多様なるに驚かざるはなく、同櫻堤の名聲は忽にして四方に喧傳せり。蓋し昔時よりの里櫻の集植地としては獨京都郊外の御室あるも、是れ唯仁和寺の境内に限られ、此櫻の多

數の名稱が一帶の長堤に植ゑられたるは實に荒川を始とす。

古來里櫻が一般に集植せられざりしは、一は其苗木の供給が山櫻又は今日の染井吉野の如く容易ならざりしと、一は亦里櫻の名稱が其所有主によりて秘藏せられ、濫りに繁殖せしめられざりしに由れり。加之里櫻は山櫻其他の櫻に比して損傷を蒙り易く、其發育には十分の保護を要するを以て、隨て堤上路傍の如く衆人雜關する所に植ゑられたるもの稀なり。

荒川の櫻堤が近世に至りて著名となりしは、前述の如く古來の櫻堤に見る能はざる里櫻の列植せられたる爲なるが、斯かる多數の品種と多數の苗木を供給せる高木孫右衛門の櫻品蒐集の功績と、又是等の名櫻を堤上に栽植せしめたる清水謙吾氏の卓見とは没すべからざるものあり。清水氏は和漢の學に通じ江北村の名望家なり。明治四十年歿す。大正十五年堤上に栽櫻紀念碑を建て同氏の功勞を永遠に傳へたり。

荒川の櫻堤は他の櫻の名所に比して上述の特色を有するが、特に櫻品觀覽上多數の品種を比較し花性を甄別するには多大の便宜あり。實際列植せる櫻樹に就て觀察すれば、花色の純白なるもの、淡紅なるもの、濃紅なるもの、紅紫なるもの、淡黄なるもの、黄綠なるもの等ありて、世に荒川の五色櫻の呼稱を得たるが、獨花色に止まらず、花の着方、花の形、花の大きさ、香の有無、花期の早晚、樹容に至るまで品種毎に固有ならざるはなし。

凡べて櫻品の特徵に關しては古來の寫生圖に表はされたれども、是等は唯花部を寫せるのみにして、樹勢を知るに由なし。剩さへ描寫も亦必しも正確と云ふべからず、往々實物と頗る違へるものあり。此點より見れば荒川の櫻は古來の名櫻の貴重なる生標本にして、之によりて古來の圖書に記載されたる櫻品を一々實物に就て觀察するを得べし。要するに荒川の櫻は公衆には本邦の櫻の美を觀賞せしむると共に、専門家には無比の研究資料を供給するものなり。

予が荒川の櫻が十分に發育して美花を開くを聞けるは、明治三十六年の春にして、四月二十四日同地に到り船津靜作氏に

面會し、同氏の案内により始めて堤上の櫻花を観察せり。是れより毎年花期に堤上櫻花の調査を繼續し、又小石川植物園内に於て該櫻品の實生試験を施し、大正五年に至りて其結果を報告せり。東京帝國大學理科大學紀要第三十四冊第一編(大正五年山櫻と里櫻)獨逸文參照此間十數年櫻品の調査、標本の採集、接穂の供給、寫生畫の作製等に關し一々船津氏を煩せるが、同氏は常に多大の好意を示されたるは予の深く感謝する所なり。

船津靜作氏は埼玉郡北足立郡里村の人にして、安政五年四月十一日生る。明治七年江北村の船津氏を嗣ぎ、昭和四年一月二十三日歿す。享年七十二。同氏は明治十八年荒川堤櫻樹栽植以來熱心に其保護に當り、同三十年頃より櫻花の調査に着手し、歿前まで之に従事せり。嘗て「江北櫻譜」を撰み、五十七櫻品の寫生圖を收めたり。江北の櫻の愛護者として永く記念すべき人なり。

荒川堤の櫻の全盛時代は明治三十五年頃より四十五年頃の間にして、樹容の完全と花の着生の夥多とによりて一大美觀を呈し(第九圖版・第十圖版・第十一圖版參照)、花期の堤上は人を以て埋もれ、外國人も亦觀賞せるもの少からず。此頃未櫻樹に對して保存の方法の施されたるものなく、徒に雜鬧の爲に枝の折られ、幹の傷つけられ、根の踏まれて損害を蒙り、樹勢の漸く衰弱せんとするの兆ありしを以て、予は船津靜作氏と圖り當時の東京府知事阿部浩氏に面會して、荒川堤の櫻が學術上及觀賞上價値の大なるを説き、其保護に就きて考慮を請へり。阿部氏は直ちに予の請を容れられ、爾來年々若干の經費を支出して櫻樹の施肥其他の手當を爲せり。

然るに幾何もなく荒川の改修工事起り、大正七年遂に櫻堤の主要なる部分は取拂はれ、加ふるに附近の工場の煙突より噴出する煤烟の中毒又害蟲害菌の寄生の爲櫻樹の損傷の度を増すに至れり。若し此儘に放棄せば殘餘の櫻堤も廢滅に歸するを免かれざれば、之が保存の必要は痛切に感ぜられたるが、恰も當時内務省に於て全國に亘りて古來の櫻の名所を指定

するの議起り、大正十三年十二月吉野山を始め、櫻川・御室・小金井・榴岡と共に荒川堤も史蹟名勝天然紀念物保存法により名勝として指定せられたり(「名勝荒川堤櫻指定區域圖」參照)。
是れより前大正九年船津氏の荒川堤の櫻樹調査書によれば品種の存在せるもの左の如し。

古木の部

關山	雨宿	鶯ノ尾	嵐山	千里香	渦櫻	長州緋櫻
染井吉野	一葉	上旬	麒麟	天ノ川	白雪	法輪寺
普賢象	九重	八重曙	瀧旬	江戸	江北旬	苔清水
明月	小汐山	細川旬	薄色寒櫻	類嵐	大提灯	薄墨
駿河臺旬	眞櫻	金剛山	御座ノ間旬	御車還	有明	滿月
祇女	墨染	日暮	便殿	樽金	萬里香	御衣黃
松月	白妙	福祿壽				
計四十五	五百二十二本					

此外に大正九年十一月植付の苗木あり、品種及株數は左の如し。

猩々	五所櫻	法輪寺	泰山府君	白華山	朱雀	萬里香
早晚山	増山	千里香	小汐山	絲括	八重曙	牡丹
墨染	紅虎ノ尾	手毬	白妙	不斷櫻	水上	九重
長州緋櫻	薄色寒櫻	駒繫	渦櫻	松月	福祿壽	江戸

關山	普賢象	一葉	高砂	鬱金	楊貴妃	細川句
駿河臺句	御車還	眞櫻	大島櫻	祇女	麒麟	便殿
緋寒櫻	類嵐	金剛山	有明	瀧句	上山句	芝山
御座の間句	苔清水	雨宿	白雪	日暮	嵐山	天ノ川
御衣黃	鷺ノ尾	南殿				
計五十九	四百一十一本					
尙同時調査にかゝる荒川改修工事の爲堤上櫻品全滅のものは左の如し。						
紅彼岸	金輪寺白妙	紫櫻	王昭君	紫枝垂	淺黃	曉櫻
人丸	鹽竈	羽二重	大膳	菊枝垂	白虎ノ尾	奈良

計十四

次で大正十二年船津氏の調査によれば、當時存在せる荒川堤の櫻品及株数は左の如し。

關山	七四	一葉	七四	普賢象	五五	御衣黃	二三
江戸	一六	鬱金	一六	松月	一五	江北句	一〇
麒麟	九	薄色寒櫻	九	日暮	九	有明	八
福祿壽	八	鷺ノ尾	八	長州緋櫻	八	上山句	七
白雪	七	白妙	六	便殿	五	天ノ川	四
金剛山	四	薄墨	四	祇女	四	駿河臺句	三

苔清水	三	車返	二	雨宿	二	名月	二
小鹽山	二	細川句	二	九重	二	瀧句	二
法輪寺	一	千里香	一	嵐山	一	八重曙	一
類嵐	一	南殿	一	満月	一	御座の間句	一
旭	一	染井吉野	九三				

計四十二 五百五本

前述の如く荒川堤の櫻は一は河川改修工事の影響と一は樹勢の衰弱とによりて、全盛時代に比して著しく美觀を感じず。然れども指定されたる現存の櫻堤にも尙幾多の名勝の存在するにより、今日尙花樹の名所として特色あるは言を俟たず。指定されたる荒川櫻堤は三區に分かる。第一區は江北村の中部沼田と堀ノ内に、第二區は其西方堀ノ内と鹿濱に、第三區はそれより北方の鹿濱にあり。此中第二區と第三區とは殆相接し、第三區は前二區に比して樹勢比較的佳良なり。堤上の櫻樹が近年一層損傷の甚しくなれるは、舊堤防が埼玉縣に通ずる道路として自動車殊に荷物自動車の往來頻繁となれると、櫻樹の保護の行届かざりしによる。

上記の指定区域内に現存する櫻樹に就て昨年四月二十日東京府囑託稻村坦元氏及同富田啓温氏と實地調査を施せり（第十七圖版より第二十二圖版まで参照）。調査の際は船津静作氏の作れる「荒川堤櫻樹明細圖」によれり。同圖は大正十九年四月現在の堤上櫻樹を一株毎々記名し、其位置を示せるものにして、荒川の櫻品及其株數調査上に缺くべからざるものなり。圖の首に船津氏の筆にて「日高先生手記」とあり。船津氏の嗣幅爾氏の報知によれば日高氏は當時同村の小學校訓導なりしと、想ふに船津氏の調査に基づき日高氏の記入せるものならんか。

以下昨年予等の調査の際存在せる櫻品名と株數とを擧ぐべし。

寒櫻	六	駿河臺匂	二	一葉	六五	關山	五五
薄墨	三	日暮	二	御座ノ間匂	二	御車返	一
御衣黃	一	白妙	六	祇女	四	染井吉野	八〇
普賢象	三三	麒麟	四	上匂	一	福祿壽	五
千里香	一	嵐山	一	松月	四	苔清水	二
不斷櫻	一	長州緋櫻	一	有明	二	便殿	二
白雪	四	天ノ川	三	江北匂	六	金剛山	四
雨宿	二	鶯ノ尾	三	滿月	二	小鹽山	一
瀧匂	一	鬱金	四	萬里香	一	細川匂	一
長州緋櫻	四	江戸	三				

計三十八

三百二十八本

此の如く昨年の春に於ける荒川堤の櫻品は明治十八年栽植當時の臺帳面に比して約半數を減じ、株數に於ては約十分の一となれり。現存の櫻品中染井吉野を除き里櫻の品種中に於て最も多きは一葉・關山にして、之に次で普賢象及御衣黃なり。其他の品種に至りては僅に數株又は一株を存するに過ぎず。是れ今後の補植に際して注意を要する所なり。斯く歲月と共に荒川堤上に消滅せる櫻品は、今日幸に他處に保存せられたるものあれば、將來に於ける復舊は必しも難事にあらず。

櫻品の來歴

荒川の櫻が高木孫右衛門の園中より來れることは前に述べたが、孫右衛門は如何にして斯く多數の櫻品を蒐集せるや又其櫻品の來歴は如何なるや、是れ吾人の知らんと欲する所なるも分明ならざるを遺憾とす。唯予が市橋星峰公の「花譜」其他古來の主なる櫻花譜に就て考證せる所によれば、荒川の櫻品は古來の櫻譜に載せたるものと一致し、名稱の正確なるを知れり。故に孫右衛門の櫻品は一般種樹家の培養せる櫻樹の雜駁なる蒐集にあらずして、舊幕府時代の大名又は愛櫻家の名園にありし櫻樹の系統に屬せるを想ふべし。

徳川幕府時代に於ける名櫻の栽植を以て著名なるは、文化文政頃の白河樂翁公の江戸築地の別墅浴恩園「浴恩園櫻譜」及天保年間の久保櫻嶺の青山長者丸の櫻園坂本浩然畫「長者丸櫻譜」天保十三年なるが、花譜の撰者市橋星峰公も亦文化の頃蒐集せる櫻品の栽培に努められたるや疑なし。

京都其他の關西地方にも古來里櫻山櫻等の名種少からずと雖も、是等は江戸の櫻品とは自ら品種を異にし、隨て名稱も異なり。一例を擧ぐれば京都平野神社境内に存する櫻戸玉緒の植栽にかゝる櫻品の如きは獨關西地方に見るを得るもの少からず。

孫右衛門の櫻品が京都系統ならずして江戸系統に屬し、而かも其著しき代表品種を包含せる所によれば、是れ恐らくは舊時の名園より傳來せるものなるべし。

荒川の櫻品の大半は江戸時代殊に其中期以後に生ぜるものなるが、他には遠く室町時代に知られたるもあり。普賢象の如きは其著例にして、弘治年間の節用集に己に其名を載せたれば、今日より少くとも、四百年前に存在せるや明なり。此

他にも尚徳川幕府前より傳はれ櫻品なきにあらず。

抑も櫻には概ね先天的向上性ありて、實生により親木よりも花性の一層優良となる傾向あるは、予が曩に培養試験によりて證明せる所なるが、殊に里櫻に於ては斯かる特性著し。例へば紫櫻の實生より八重紫櫻を生じ、小鹽山の實生より小鹽山匂を生ぜるが如し。小鹽山匂にては花瓣は重複となりて花容の美を増せるのみならず、剩へ芳香を發するに至れり。是れ何れも偶然變異によれり。

古來里櫻の栽培によりて多數の實生を成せる中に、花性の向上によりて花形・花色・花の大きさ其他の點に於て進化を遂げ美麗優秀の花となれるものあるは文献に徴して知るべし。是れ名櫻出現の由來にして、斯くして生ぜるものは或は庭園の秘木として愛護せられ、又は社寺の境内に獻木として植ゑられ、以て後世に傳はれるが、櫻品蒐集の盛なるに及んで、是等の名櫻も次第に江戸の庭園に分植せられ、遂に江戸系統の櫻品を成すに至れり。畢竟古來櫻品の蒐集は一朝の能くせる所にあらず。永き年月と大なる勞力とによりて始めて其目的を達せるものなり。荒川の多數の櫻品が一々歴史を有し各、其特徴を發揮するを見ても、古人の栽培上の苦心の容易ならざるを知るべし。

櫻品の記載

荒川堤の櫻は明治十九年栽植當時の臺帳に記載されたるもの、外に、實地調査によりて無名の品種の發見せられたるものあり。明治三十六年予の調査を始めたる後是等の無名種にして、予の新名を附せるものなしとせず。今其中の著しきものを擧ぐれば左の如し。

白雪 明治四十二年四月十四日

高砂	同四十四年四月十一日發見
満月	同 年四月十三日發見
江北匂	
荒川匂	

此他に臺帳に記名なき古來の櫻品あり。五所櫻の如きは其一例にして、明治四十四年四月十一日堤上に發見して檢定せり。以下荒川の主なる櫻品の著しき特徴を記載すべし。是等の櫻品の學術的記載は自著「山櫻と里櫻」東京帝國大學理科大學紀要第三十四冊第一編(獨逸文)及「櫻」(第七號以下)に記載せたり

一、里櫻性

一、白花

1. 綠芽

一、虎の尾 *Prunus serrulata* Lindl. f. *caudata* Miyos.

青茶芽、花序總長約三仙米、白花、一重、短梗、花徑約四仙米、花は長さ枝の先方に叢生して尾狀をなす。別に淡江花のものあり。

花期、四月中旬より下旬に至る。

二、早晚山 *Prunus serrulata* Lindl. f. *regularis* Miyos.

淡茶芽、花序總長約八仙米、白花、淡紅を帯び、花瓣の中央に紅の縦線あり。大輪、花徑約五・五仙米、花瓣十二三あり。幅狭く、形整正にして先端に深き切込あり。花梗は長く細し。花に微香あり。

花期四月中旬。

三、雨宿 *Prunus serrulata* Lindl. f. *dilatata* Miyos.

青芽、白花、八重、花瓣は三四列をなす。花序總長約五・六仙米、花徑約四仙米、花梗太し。花期、四月中旬。

四、白妙 *Prunus serrulata* Lindl. f. *albida* Miyos. (第三圖版)

青芽、白花、八重、花序總長約六仙米、花徑約五仙米、花瓣約一〇あり。花期、四月中旬。

2. 茶 芽

五、水上 *Prunus serrulata* Lindl. f. *gracilis* Miyos.

茶芽、花序總長約三・五仙米、白花、小輪、一重、短梗、花徑約三仙米、花冠は多少鐘狀をなす。花期、四月中旬。

六、類嵐 *Prunus serrulata* Lindl. f. *rubescens* Miyos.

赤芽、花序總長約六・五仙米、淡紅花、一重、大輪、花徑約四仙米、花冠皿狀、微香あり。花序長く、多數の淡紅花を着くるによりて著し。

花期、四月中旬。

七、名月 *Prunus serrulata* Lindl. f. *sancta* Miyos. (第三圖版)

一に明月とも云ふ。里櫻にして茶芽、白花一重、花序總長約四仙米、花徑約四仙米。

花期、四月中旬。

八、苔清水 *Prunus serrulata* Lindl. f. *angustipetala* Miyos.

淡茶芽、花序總長約四・二仙米、白花、瓣端紅色を帯ぶ。一重、往々旗瓣あり。花瓣狭く尖れり。花徑約三・五仙米。花序短し。

花期、四月中旬。

九、鷺の尾 *Prunus serrulata* Lindl. f. *arguta* Miyos.

大木、茶芽、花序總長約六・五仙米、白花、短梗、大輪、花徑約五仙米、五六瓣の外に旗瓣あり。花瓣に皺あり。花期、四月中旬。

一〇、有明 *Prunus serrulata* Lindl. f. *emulda* Miyos.

茶芽、花序總長約六・五仙米、白花又は帶淡紅花、花徑約五仙米、花瓣十枚に達す。

一一、大提灯 *Prunus serrulata* Lindl. f. *bullata* Miyos.

茶芽、白花、時として微紅を呈す。花序總長約八仙米、花徑約五密米に達す。五瓣又は十餘瓣あり。花瓣廣く波狀の皺あり。

花期、四月中旬より下旬に至る。

一二、旗櫻 *Prunus serrulata* Lindl. f. *verticillata* Miyos.

茶芽、白花、花序總長約六仙米、花徑約四・五仙米、花瓣約一〇、若干の旗瓣あり。花期、四月中旬より下旬に至る。

一三、**眞櫻** *Prunus serrulata* Lindl. f. *multipectata* Miyos.

小木、青茶芽、花序總長約五仙米、白花、花瓣約一五、旗瓣あり。花徑約四・五仙米。此櫻は發生盛なるにより接臺として用ひらる。

別に**赤花眞櫻** *Prunus serrulata* Lindl. f. *multipectata* Miyos. subf. *rubriflora* Miyos. あり。花色の赤きによりて前者と區別す。

花期、四月中旬。

一四、**牡丹** *Prunus serrulata* Lindl. f. *Moutan* Miyos.

淡茶芽、花序總長約五仙米、帶淡紅白花、大輪、花徑約五仙米、八重、花瓣約一五、花梗は短く太し。

花期、四月下旬。

二、**紅花**

1. **綠芽**

一五、**御車遣** *Prunus serrulata* Lindl. f. *diversiflora* Miyos.

一に車返と云ふ。淡青芽、花序總長約四仙米、白花、花瓣の處々淡紅となれり。大輪花徑約五仙米、花梗短く太し。五瓣のもの、七八瓣のものあり。又旗瓣もあり。花瓣は淺き盃狀を成し、縮緬狀の光澤を現す。此櫻は京都邊に多く、古來の名稱たり。枝の上方に立つ特性あるにより葉なきときも識別せらる。

花期、四月中旬。

一六、**日暮** *Prunus serrulata* Lindl. f. *ambilis* Miyos. (第七圖版)

小木、淡青茶、花序總長約四・五仙米、八重、花瓣約二〇、花心白く、外部に至るに従ひ次第に紅色となる。花徑約四・五仙米、花梗短く太く、花密集し、且花の部分により濃度の差あるを以て著し。

花期、四月下旬。

一七、**福祿壽** *Prunus serrulata* Lindl. f. *contorta* Miyos.

淡青芽、花序總長約四・五仙米、淡紅花、八重、花瓣約二〇、花徑約五仙米、花梗短し、花冠稍、扁平、花瓣厚く波狀をなす。

花期、四月下旬。

一八、**八重曙** *Prunus serrulata* Lindl. f. *versicolor* Miyos.

茶芽、花序總長五・五仙米、花は紅色にして部分により濃度不同なり。八重、花瓣約一二、花徑約四・五仙米。花期、下旬。

一九、**松月** *Prunus serrulata* Lindl. f. *superba* Miyos. (第四圖版)

青芽、花序總長約八仙米、白花、若き花は淡紅を呈す。八重、花瓣約三〇、花徑約五仙米。花梗甚長く且細きにより花は垂れて下方に向ふ。此櫻は東京に多し。

花期、四月下旬。

2. **茶芽**

一九、**小鹽山** *Prunus serrulata* Lindl. f. *communis* Miyos.

小汐山とも云ふ。茶芽、花序總長約五・五仙米。花は淡紅を帶ぶ。一重、花徑約三・五米、便殿に似たるも花色淡く

且花梗長し。

花期、四月中旬。

二〇、九重 *Prunus serrulata* Lindl. f. *homogama* Miyos.

淡茶芽、花序總長約四仙米、花は一樣なる淡紅色を呈す。一重又は八重のものあり。花徑約四仙米。

花期、中旬。

二一、奥都 *Prunus serrulata* Lindl. f. *longipes* Miyos.

茶綠芽、花序總長約八・五仙米に達す。淡紅花、大輪、花瓣一〇、二列をなす。花徑約四・五仙米、フリーシアの如き香氣あり。花梗の長さに拘らず花は直立す。花容九重に似たるも、花梗の長さと、花冠の大なるによりて區別せらる。

花期、四月下旬。

二二、祇女 *Prunus serrulata* Lindl. f. *campanulata* Miyos. (第十六圖版)

茶芽、花序總長約六仙米、淡紅、花徑三・五仙米、花冠多少鐘狀をなす。花瓣約一五に及ぶ。

花期、四月下旬。

二三、朱雀 *Prunus serrulata* Lindl. f. *empanuloides* Miyos.

淡茶芽、花序總長約八仙米、淡紅花、花瓣約一二、花徑約四仙米、花冠の一樣淡紅色にして多少鐘狀を呈すること恰も祇女に於けるが如きも、花梗の長さによりて區別すべし。

花期、四月下旬。

二四、法輪寺 *Prunus serrulata* Lindl. f. *decora* Miyos. (第八圖版)

淡茶芽、花序總長約七・六仙米、淡紅花、花の中央部より外部に移るに従ひ紅色を増す。花徑約四・五仙米、花瓣一五、圓形。元京都嵐山の虚空藏法輪寺にあり。後水尾天皇勅銘の櫻なり。

花期、四月下旬より下旬に至る。

二五、江戸 *Prunus serrulata* Lindl. f. *nobilis* Miyos. (第四圖版)

茶芽、花序總長約四・五仙米、紅花、八重、花瓣一五、三列を成す。花徑約四・五仙米、花梗短く、花序集つて毬狀を呈す。此櫻は東京に多く、花序の短さによりて著し。

花期、四月中旬より下旬に至る。

二六、王昭君 *Prunus serrulata* Lindl. f. *conspicua* Miyos. (第二圖版)

茶芽、花序總長約四・五仙米。花瓣約一五、外列は紅色、内列は淡紅色、花徑四仙米、花梗短し。

花期、四月下旬。

二六、渦櫻 *Prunus serrulata* Lindl. f. *spiralis* Miyos.

淡茶芽、花序總長約五仙米、淡紅花、八重、花瓣三〇に達し、多少螺旋狀に排列せるによりて此名あり。花徑約三仙米。彼の雲珠櫻と云ふものは之と別なり。

花期、四月中旬より下旬に至る。

二八、五所櫻 *Prunus serrulata* Lindl. f. *rubida* Miyos.

大木、茶芽、花序總長約七仙米、大輪、花徑約五・五仙、花瓣約一五、花の内部にあるものは白色、外部に至るに

従ひ紅色を呈す。花梗長く、二三本又は五本宛、殆一處より出るにより五所櫻と云ふ。昔より知られたる櫻にして、「櫻品」に載せたり。

花期、四月下旬。

二九、**一葉** *Prunus serrulata* Lindl. f. *uniflora* Miyos. (第五圖版)

茶芽、花序總長約六・五仙米、花瓣約二五に及ぶ。花の咲き立ては淡紅色なれども、満開に至れば殆ど白色となる。花徑約四・五仙米、花心より一本の葉化雌蕊出たり。一葉の名を得たるは之による。東京にはこの櫻最も多し。四月二十日頃盛なり。

花期四月中旬より下旬に至る。

三〇、**紅鶴** *Prunus serrulata* Lindl. f. *bella* Miyos.

淡茶芽、花序總長約七・五仙米、花徑約三・五仙米、花瓣約二五、圓形、外列は濃紅色、内列は淡紅色を呈す。花形は一葉に於けるが如きも、花色の濃さと雌蕊の常態なるによりて異なり。

花期、四月下旬。

三一、**楊貴妃** *Prunus serrulata* Lindl. f. *mollis* Miyos.

淡茶芽、花序總長約五仙米、淡紅花、紅色の濃度一樣ならず。花徑約五仙米、花瓣約二〇。花梗短く花密集す。

花期四月下旬。

三二、**麒麟** *Prunus serrulata* Lindl. f. *aborviana* Miyos.

赤芽、花序總長約七仙米、濃紅花、八重、花瓣三〇枚に及ぶ。花徑約四・五仙米、花心より雌蕊の化生したる綠葉出

たり。花の形色共に關山に似たるも木振は是と異なりて、枝の諸部の不規則なる疣狀をなすを特徴とす。

花期、四月下旬。

三三、**南天** *Prunus serrulata* Lindl. f. *sericea* Miyos.

茶芽、花序總長七仙米、濃紅花、八重、花瓣一二、花徑約四仙米、花色の濃紅なることは關山・麒麟に似たれども、花の重ねの薄さによりて區別せらる。又若葉の色も同じからず。

花期、四月下旬。

三四、**紅虎の尾** *Prunus serrulata* Lindl. f. *formosissima* Miyos. (第九圖版)

淡茶芽、花序總長約五・五仙米、紅花、一重、旗瓣あり。花徑約五仙米、花梗短し。長さ枝の先に衆花群り着き、尾の如くなるによりてこの名あり。里櫻の中の珍らしき品種なり。

花期、四月下旬。

三五、**絲括** *Prunus serrulata* Lindl. f. *fasciculata* Miyos. (第十三圖版)

淡茶芽、花序總長約五・五仙米、淡紅花、花徑約四・五仙米、花瓣一五に達す。數多の花は枝の先端に集り着き、密束をなすによりて、此名あり。珍らしき品種なり。

花期、四月下旬。

3. **赤芽**

三六、**嵐山** *Prunus serrulata* Lindl. f. *similis* Miyos.

茶芽、花序總長約二・五仙米、白花、一重、大輪、花徑約五仙米、花梗太く、花上向す。

花期、四月中旬。

- 三七、**便殿** *Prunus serrulata* Lindl. f. *rubida* Miyos.
赤茶芽、花序總長約六・三仙米、淡紅花、紅色の濃度不同なり。一重、花徑約三・五仙米、花梗太し。
花期、四月下旬。

- 三八、**紫櫻** *Prunus serrulata* Lindl. f. *purpurea* Miyos.
小木、赤芽、花序總長約四仙米、帶紫紅花、一重、花徑約三・七仙米。
花期、四月下旬。

- 三九、**長州緋櫻** *Prunus serrulata* Lindl. f. *splendens* Miyos.
眞赤芽、花序總長約五・五仙米、濃紅花、五瓣又は十一二瓣に及ぶ。時としては旗瓣を具ふるもあり。花徑約四仙米
若葉の眞紅にして花色の濃紅なるによりて著し。

- 四〇、**關山** *Prunus serrulata* Lindl. f. *purpurascens* Miyos. (第一圖版・第十五圖版)
赤芽、花序總長約六・五仙米、濃紅花、八重、大輪、花瓣約三〇、花徑約六仙米、花心より二枚の葉化雌蕊出づ。花梗太く長し。花期長く、東京にては四月廿日頃より開き下旬に及ぶ。八重緋櫻中最も美なるものにして、東京に多く之を見る。

- 此櫻は太き枝多く出で、屈曲して上方に向ひ、特異の樹形をなすにより遠方よりも識別すべし。
四一、**増山** *Prunus serrulata* Lindl. f. *purpurascens* Miyos. subf. *pubida* Miyos.

關山に似たれども、花色の淡さと木振の異なるによりて區別すべし。

- 四二、**普賢象** *Prunus serrulata* Lindl. f. *classica* Miyos. (第五圖版)
赤芽、花序總長約七仙米、八重、花瓣約三五、六七列をなす。花の正さに開ける時は紅色の度強さも、日を経るに従ひ次第に淡く、遂に殆ど白色となり、唯外部にある花瓣のみ稍、紅色を帶ぶ。花心より細き綠葉に化せる二本の雌蕊出で、其先端屈曲して、普賢菩薩の乗れる象の鼻の如きによりて普賢象の名を得たり。花梗長く垂れ、花は下方に向ふ。蕾は濃紅色の小さき花瓣に疊まれ、短き倒圓錐形を呈し、花心より小葉化雌蕊突出せり。蕾の順次發生するに、花期最も長く、東京にては四月廿日過より開き始め、五月の初めに至る。此櫻は里櫻の品種中來歴の最も古きものにして、已に足利時代に知られたり。果實を結ばざるにより昔より接木のみにて繁殖せしめ今日に傳はれり。花性の優美なることは里櫻中の第一と云ふ可し。

- 三、**綠花**
四三、**鬱金** *Prunus serrulata* Lindl. f. *luteo-virens* Miyos. (第十圖版)
茶芽、花序總長約五仙米、八重、花瓣一五、旗瓣あり。花徑約四仙米、花瓣は質稍、硬く、淡黃綠色、最外部にある花瓣の外面は淡紅を呈す。別に淺黃櫻 *Prunus serrulata* Lindl. f. *luteo-virens* Miyos. subf. *luteoides* Miyos. と云ふものあり。花瓣の性質は御衣黃に於けるが如きも、淡黃色を呈するによりて異なり。

- 四四、**御衣黃** *Prunus serrulata* Lindl. f. *tricolor* Miyos. (第六圖版)
茶芽、花序總長約五・五仙米、八重、花瓣一五、花徑約四仙米、花瓣は綠色部と黃色部と混し、紅色の縦線あり。花瓣の質稍、硬く普通の花の如くならず、是れ綠化に伴ふ變化なり。此櫻は舊幕府時代にも珍重せられ「御用木」とな

りしものあり。

花期、四月下旬。

四、有毛

1. 白花

四五、薄墨

Prunus serrulata Lindl. f. *nigrescens* Miyos.

青芽、花序總長約五仙米、白花、一重、花徑約四・五仙米、墨染に似たるも花瓣稍、楔形を成し、花梗稍、長く且毛有るによりて異なり。

花期、四月下旬。

四六、白雪

Prunus muddilis Lindl. f. *nivea* Miyos.

明治四十四年四月十一日荒川堤上に於て予の見出せる里櫻にして此名を命ぜり。淡青芽、花序總長約三・五仙米、白花、一重、花徑約四・五仙米、短梗、花梗に密毛あり。花を着くこと甚だ多し。

花期、四月下旬。

2. 紅花

四七、高砂

Prunus serrulata Lindl. f. *caespitosa* Miyos.

明治四十四年四月十一日荒川堤上に於て予の見出せる里櫻にして此名を命ぜり。大木、淡茶芽、花序約四仙米、淡紅花、花色一樣ならず。八重、花瓣約三〇、花徑約四・五仙米、花梗短し。花梗、萼筒、葉脈共に毛あり。

花期、四月中旬。

五、匂櫻

四八、細川匂

Prunus serrulata Lindl. f. *hosokawa-odora* Miyos.

青芽、花序總長約七・五仙米、概ね三四花繖狀を成し、長き總軸を有す。時として更に一花の下方に着くことあり。白花、大輪花徑約五・五仙米に達す。花瓣八、九枚に及び、旗瓣の出づるを常とす。花に芳香あり。花序其の他の特徴大島櫻に酷似し、此櫻より化生せるを知るべし。

花期、四月中旬。

四九、千里香

Prunus serrulata Lindl. f. *picata* Miyos.

淡茶芽、花序總長約六・五仙米、白花紅色を帯ぶ。芳香あり。花徑約四・五仙米、花瓣約七、八枚に及ぶ。花瓣幅廣く、波狀を呈す。

花期、四月下旬。

五〇、萬里香

Prunus serrulata Lindl. *excelsa* Miyos.

淡青芽、花序總長六・五仙米、白花、八重、花瓣一五、幅廣し、芳香あり。花徑約四仙米に達す。木小さく、枝細く、花を着くこと多し。

花期、四月下旬。

五一、満月

Prunus serrulata Lindl. f. *grandiflora* Miyos.

綠芽、花序總長約七・五仙米、白花、一重、一、二の旗瓣の生ずるものあり。花瓣殆ど圓形、芳香あり。花徑約五・五仙米。本櫻品は明治四十四年四月十三日荒川堤上に於て予の發見して命名せるものにして、花大きく、白色にして芳

香あるにより著し。

花期、四月中旬。

五二、駿河臺句 *Prunus serrulata* Lindl. f. *surugudai-edora* Miyos.

茶芽、花序總長約六・五仙米、白花、一重、旗瓣の生ずるものあり。芳香あり。花徑約四仙米、花瓣狭く中央に縦の皺あり。

花期、四月下旬。

五三、瀧句 *Prunus serrulata* Lindl. f. *Chawata* Miyos. (第十一圖版)

茶芽、花序總長約七仙米、白花五瓣又は六、七瓣、旗瓣の生ずるものあり。強き芳香あり。花徑約三・五仙米、枝擴がり出で、夥しく花を着く。

花期、四月下旬。

五四、上句 トナリ *Prunus serrulata* Lindl. f. *ajinus* Miyos. (第六圖版)

淡茶芽、花序總長約六・五仙米、白花一重、旗瓣の出づるものあり。芳香あり。花徑約三・五仙米、花梗太く花は直立す。枝は多く上方に向ひ固有の樹勢を呈す。

花期、四月下旬。

六、上 向

五五、天の川 *Prunus serrulata* Lindl. f. *creda* Miyos. (第十四圖版)

淡茶芽、花序總長約五仙米、淡紅花、花徑約四・五仙米、花瓣一五、三列をなす。此櫻は枝の直立するのみならず、

花梗も亦上方に向ひ、花瓣も同様に上向の特性あるによりて著し、花にフリーシア性の微香あり。昔より知られたる櫻なり。

此櫻の一種に白花のものあり。予は之れに七夕 *Prunus serrulata* Lindl. f. *creda* Miyos. subf. *albida* Miyos. の名を命ぜり。

花期、四月下旬。

二、箒櫻性

五六、箒櫻 *Prunus fruticosa* Miyos. (第十二圖版)

小木、細き枝叢立して箒狀を呈す。故に此名を得たり。茶綠芽、花序總長約四仙米、花は紅色なるも、其部分によりて濃淡不同なり。花徑約三仙米、花瓣約三五、雄蓋は少數にして花瓣の間に隠る。花梗に毛多し。

此櫻は里櫻とは異なり。樹形及花形の特異なるを以て古來知られたり。

花期、四月下旬。

五七、狸々 *Prunus fruticosa* Miyos. f. *dubia* Miyos.

小さき木にして、枝は細く上方に立ち叢生し、特異の樹形をなす。淡茶芽、花序總長約四・五仙米、淡紅花、中心部色淡く、外部は濃し、八重、花徑約二〇、圓形、花徑約四仙米、花梗に毛あり。萼は膨れ、倒圓錐形を呈す。

花期、四月上旬。

五八、泰山府君 *Prunus fruticosa* Miyos. f. *ambigua* Miyos.

樹形、花形等種々に於けるが如きも、花は小さく、花梗太く短し。花序總長約四仙米、花徑約三・五仙米、花瓣約一〇〇に及ぶ。昔より能く知られたる櫻なり。

花期、四月下旬。

三、山櫻性

五九、荒川句 *Prunus muddilis* Miyos. f. *ardkanensis* Miyos.

黄芽、花序總長約五・三仙米、白花、大輪香氣あり。花徑約三・三仙米。

花期、四月中旬。

六〇、江北句 *Prunus muddilis* Miyos. f. *kolokuenensis* Miyos.

濃赤芽、花序總長約四・五仙米、白花、大輪香氣あり。花徑約三仙米。

花期、四月上旬。

櫻樹の保護

荒川堤と同時に指定されたる吉野山其他の櫻の名所は指定後何れも保護を講ぜるが、就中小金井の櫻は東京市公園課の管理によりて十分の保護を受け、樹勢の旺盛なるに至れり。然るに荒川堤は前述の如く種々の原因によりて櫻樹の損傷甚しきを遺憾とす。是れ一は小金井其他とは櫻の種類異なるによれども、主として保護の行はれざるによるなり。

荒川堤の櫻樹の保護は急を要するのみならず、同櫻樹の存続には將來に於て絶えず保護に注意せざるべからず。

今茲に櫻樹保護上の要點を記すべし。

- (一) 枯死せる櫻品の補植 「荒川堤櫻樹明細圖」を参考して缺損せる櫻品を成るべく原位置に植うべし。之が爲には常に苗圃に於て苗木を作るを要す。
- (二) 櫻樹の記名 指定地域全體に亘りて櫻樹に番號を附け臺帳に載せ、櫻品の名及必要事項を記入すべし。
- (三) 櫻樹の調査 毎年少くとも一回指定地全體に亘りて櫻樹の調査を行ふべし。
- (四) 害虫害菌の驅除 害虫害菌の驅除を勵行し、害虫に關しては冬季蟲卵の未發生せざる時に驅除すべし。
- (五) 樹株の損傷に對する注意 櫻は幹・枝・根等の損傷部より腐朽し易きにより、風雪其他人爲の傷害に對して速に適當の手術を施すべし。
- (六) 施肥 年々一定の時期に肥料を施すべし。殊に若木及樹勢の衰弱せるものには施肥の必要あり。

荒川の櫻の主なる分植地

荒川の櫻の苗木は明治四十年頃より諸所に齎らされ、内地は勿論遠く海外に移植されたり。今其主なる移植地を擧ぐれば左の如し。

小石川植物園 明治四十年以來數回に亘りて接木及實生を栽培せり。

興津園藝試驗場

北米合衆國華盛頓・ポトマク河のタイダル・ベーンに六哩に亘りて白雪・有明・車返・上旬・瀧句・染井吉野・福祿壽・御衣黄・一葉・關山の十一櫻品を移植せり。明治四十五年東京市より北米合衆國大統領タフト氏夫人に寄贈せるものなり。尙紐

育市の中央公園及ハドソン河畔のグラント將軍墓畔にも高峰讓吉氏により寄贈されたる荒川の櫻の移植あり。
 大磯高麗園 徳川侯爵の別邸しにて、大正三年江北村より多数の苗子を故頼倫侯に贈り、邸内に栽植せり。
 新宮御苑 大正八年移植せしめらる。
 上海大谷光瑞師別邸 大正十年移植されたるが、其後栽培を廢せられたる由を聞けり。

文 献

清水 謙吾 昭代樂事 明治二十四年
 高木 興吉 荒川堤櫻花曆 明治四十五年
 三好 學 日本植物景觀 第四集第二十八圖版 明治三十九年
 同 日本之植物界 明治四十三年
 同 天然紀念物調査報告植物之部第四輯 大正十五年
 同 Die japanischen Bergkirichen. Ihre Wildformen und Kulturrassen. Journal of the College of Science, Imperial University of Tokyo. Vol. XXXIV., Art. 1., 1916.
 同 櫻花圖譜 大正十年
 同 櫻花概説 同
 同 櫻花寫生 自大正九年至昭和三年
 同 荒川堤の櫻と船津靜作翁 史蹟名勝天然紀念物第四集第三號 昭和四年

三熊 花顛 櫻花帖
 市橋 星峰 花 譜
 白河 樂翁 浴恩園櫻譜 文政五年
 廣瀬 花隱 六六櫻譜
 同 花隱櫻譜
 屋代 弘賢 櫻圖説
 坂本 浩然 長者丸櫻譜 天保十三年
 同 櫻花圖
 同 櫻 譜
 堀 良山 双 譜 文久元年
 水野 元勝 花段綱目卷下 延寶九年
 那波 活所 櫻 譜 正徳四年
 松岡 玄達 櫻 品 寶曆八年
 伊藤伊兵衛 増地錦抄卷三 寶永七年
 増田金太郎 草木奇品家雅見 人 文政十年
 久保 櫻顛 長者丸白櫻亭園中百三十六品 天保
 畔田 畔存 櫻花記 天保四年

同 櫻記
同 名所櫻註 天保八年
東都櫻畫註
泉本儀左衛門 本草要正 二 文久二年

東京府史蹟保存物調査報告書刊行目錄

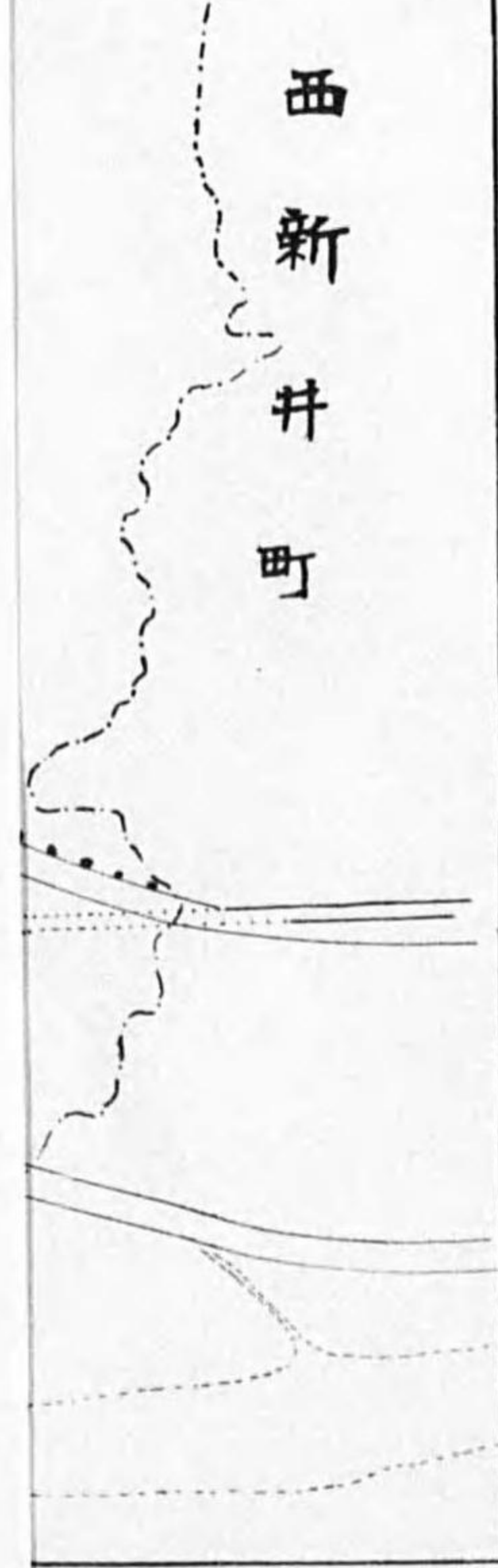
東京府史蹟寫真帖	全一冊	大正八年三月
東京府民政史料	全一冊	大正九年十二月
東京府史蹟勝地調査報告書	第一冊	大正十二年三月
東京府史蹟名勝天然紀念物調査報告書	第二冊	大正十三年三月
東京府史蹟名勝天然紀念物老樹大木の調査	第三冊	大正十四年三月
東京府史蹟名勝天然紀念物調査報告書	第四冊	大正十五年五月
東京府史蹟名勝天然紀念物調査報告書	第五冊	昭和二年五月
東京府史蹟保存物調査報告書	第六冊	昭和四年二月
東京府史蹟調査報告書	第七冊	昭和五年三月

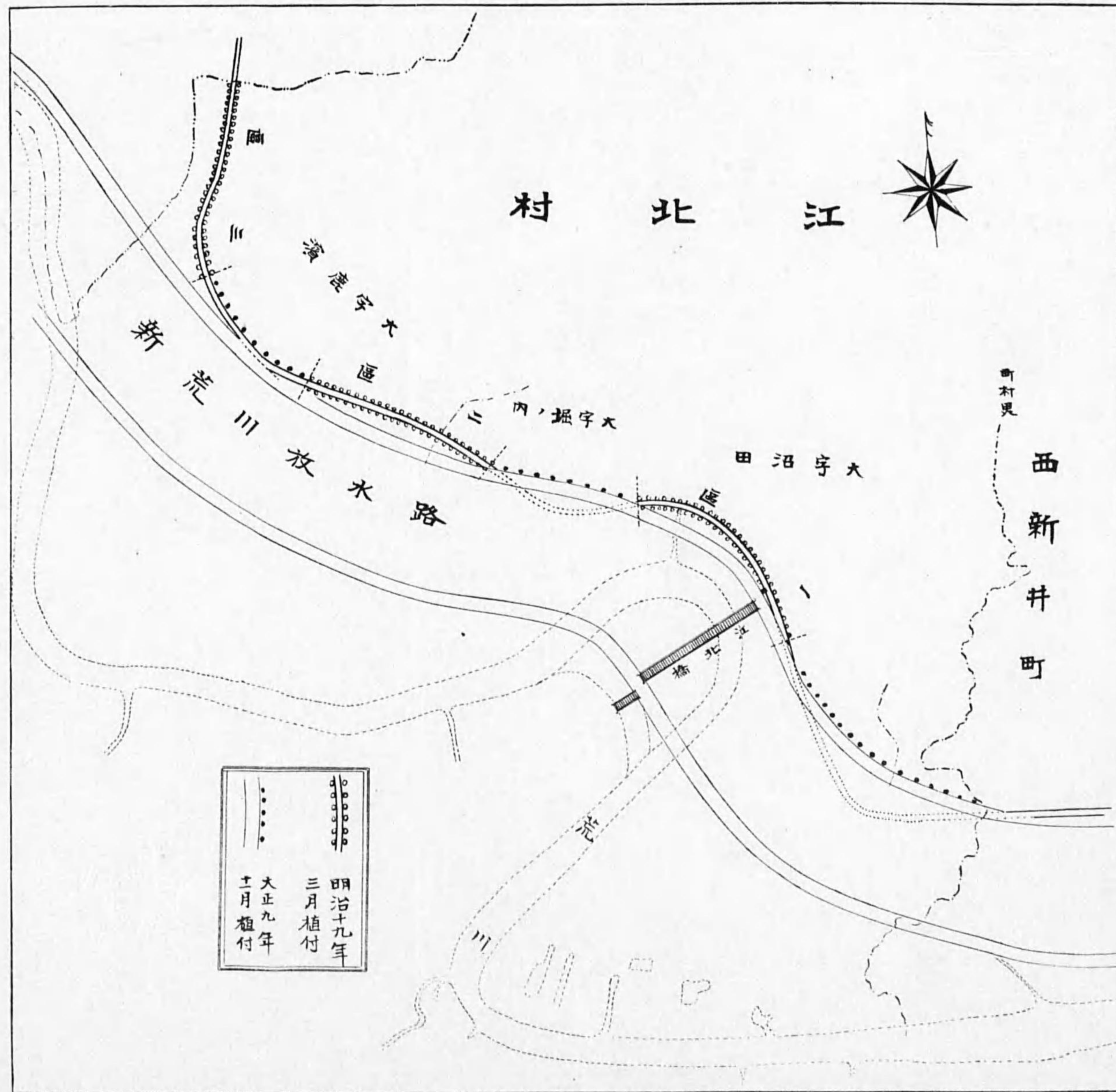
〔名所〕



町和吳

西
新
井
町





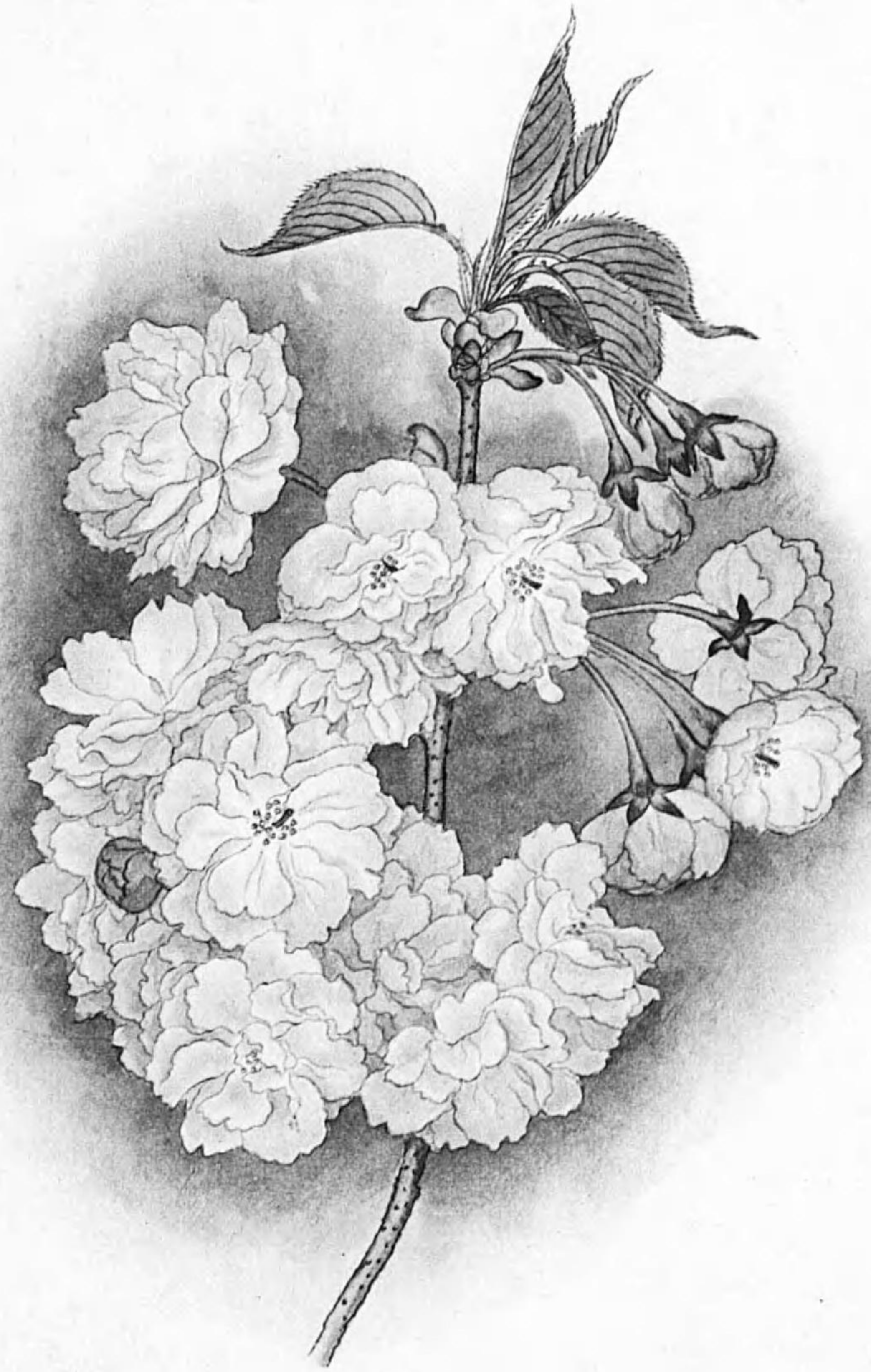
名勝荒川堤櫻指定區域圖



版圖一第
山關

Prunus serrulata Lindl. f. *purpurascens* Miyos.

生寫日五十二月四年三和昭



版圖二第
君昭王

Prunus serrulata Lindl. f. *conspicua* Miyos.

生寫日四十二月四年三和昭

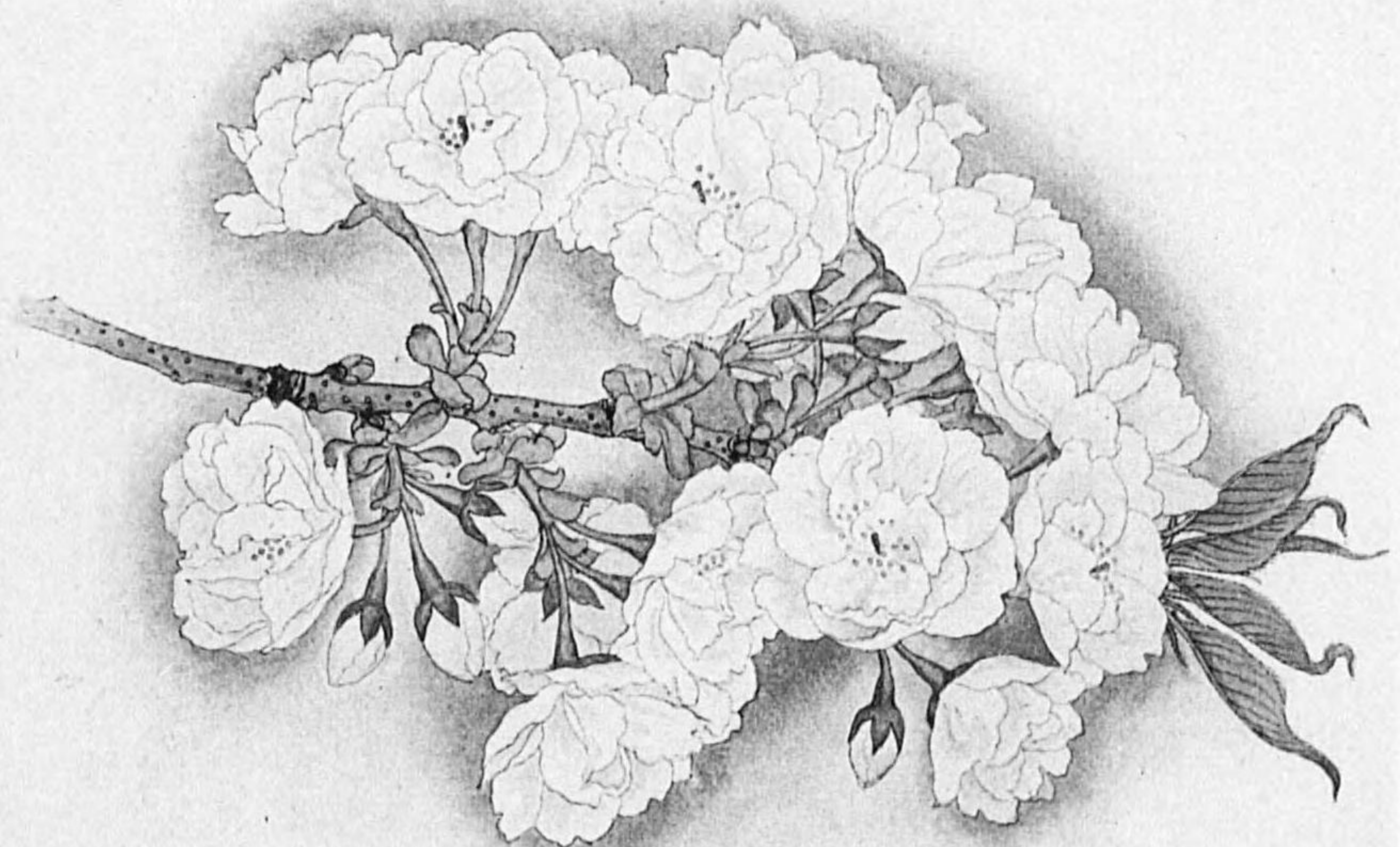


二ノ版圖三第

月 名

Prunus serrulata a Lindl. f. *sancta* Miyos.

生寫日三十二月四年三和昭



一ノ版圖三第

妙 白

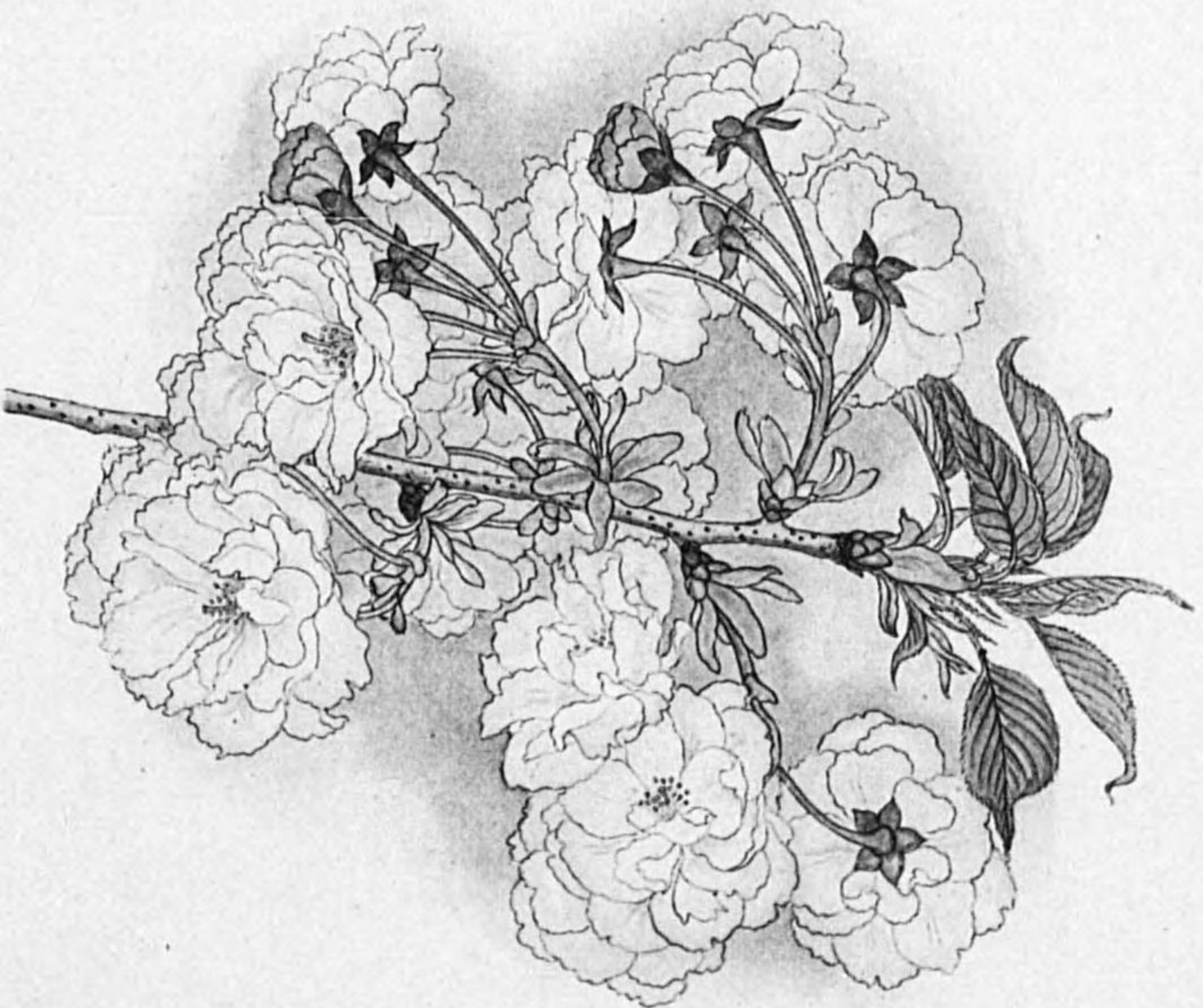
Prunus serrulata Lindl. f. *alida* Miyos.

生寫日十二月四年三和昭



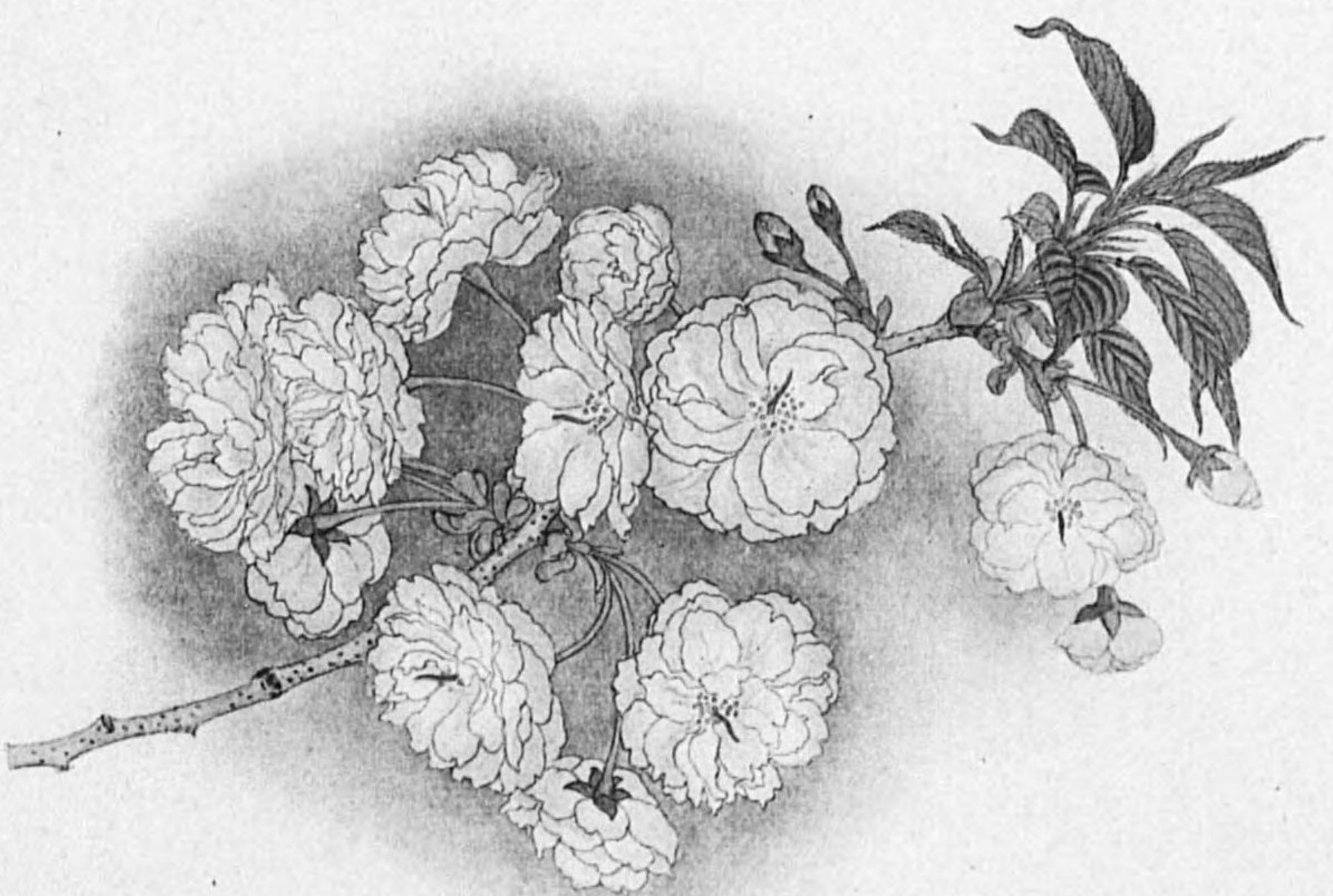
二ノ版圖四第
戶 江

Prunus serrulata Lindl. f. *nobilis* Miyos.
生寫日七十二月四年三和昭



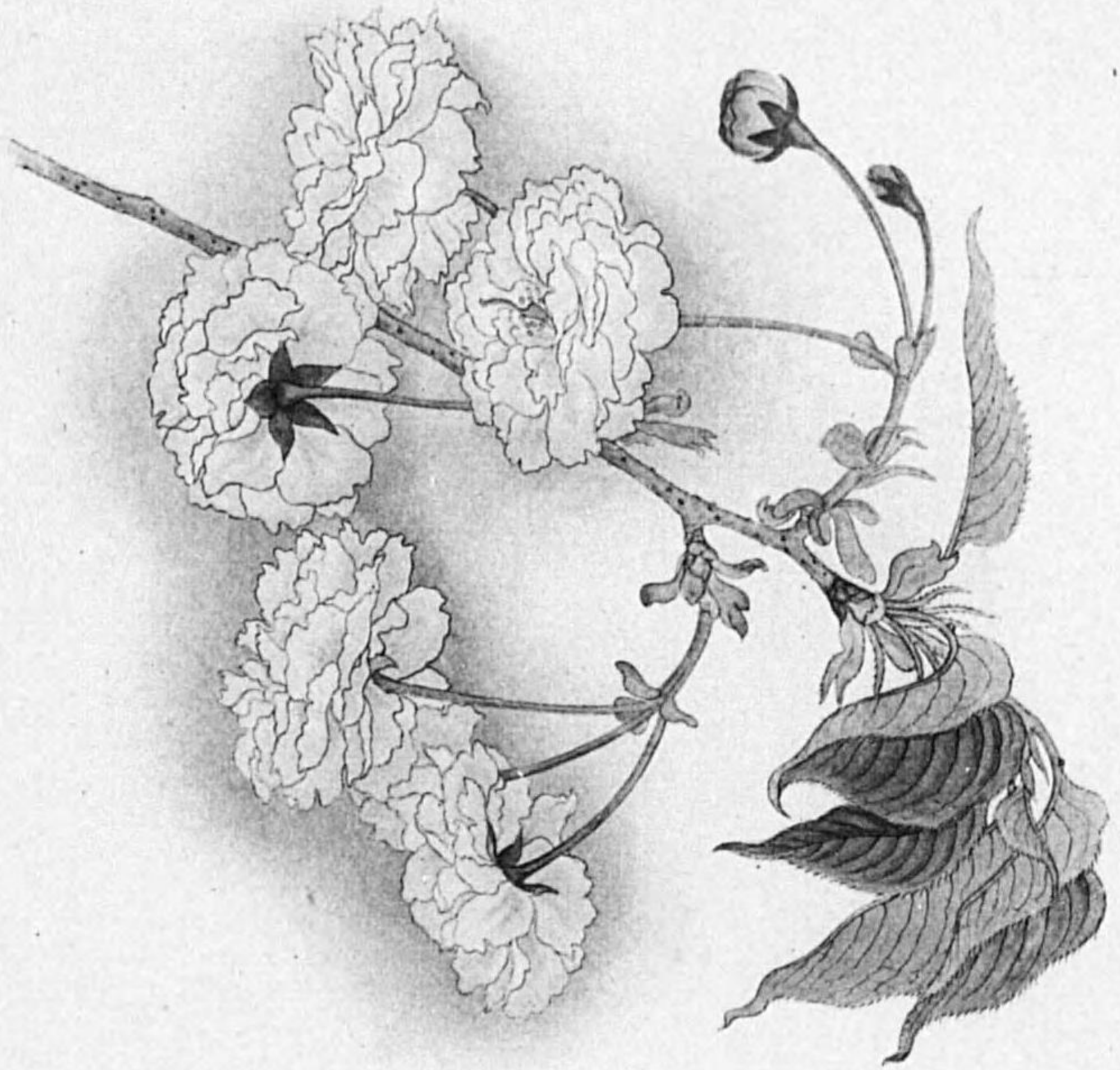
一ノ版圖四第
月 松

Prunus serrulata Lindl. f. *superba* Miyos.
生寫日六十二月四年三和昭



一ノ版圖 五第
葉 一

Prunus serrulata Lindl. f. *uniflora* Miyos.
生寫日一十二月四年三和昭



二ノ版圖 五第
象 賢 普

Prunus serrulata Lindl. f. *classica* Miyos.
生寫日七十二月四年三和昭



二ノ版圖六第
句 上

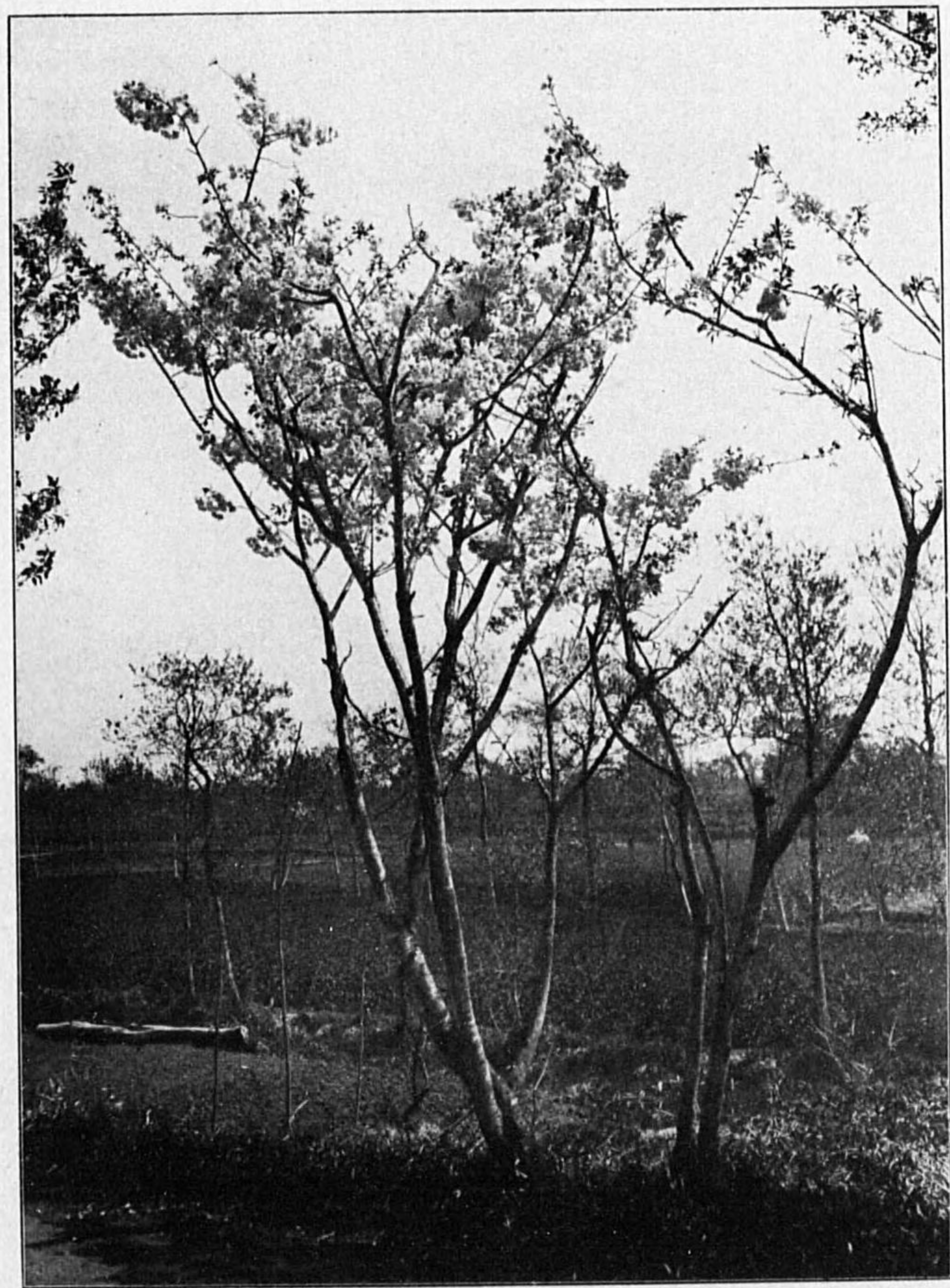
Prunus serrulata Lindl. f. *affinis* Miyos.
生寫日二十二月四年三和昭



一ノ版圖六第
黄衣御

Prunus serrulata Lindl. f. *tricolor* Miyos.
生寫日二十二月四年三和昭

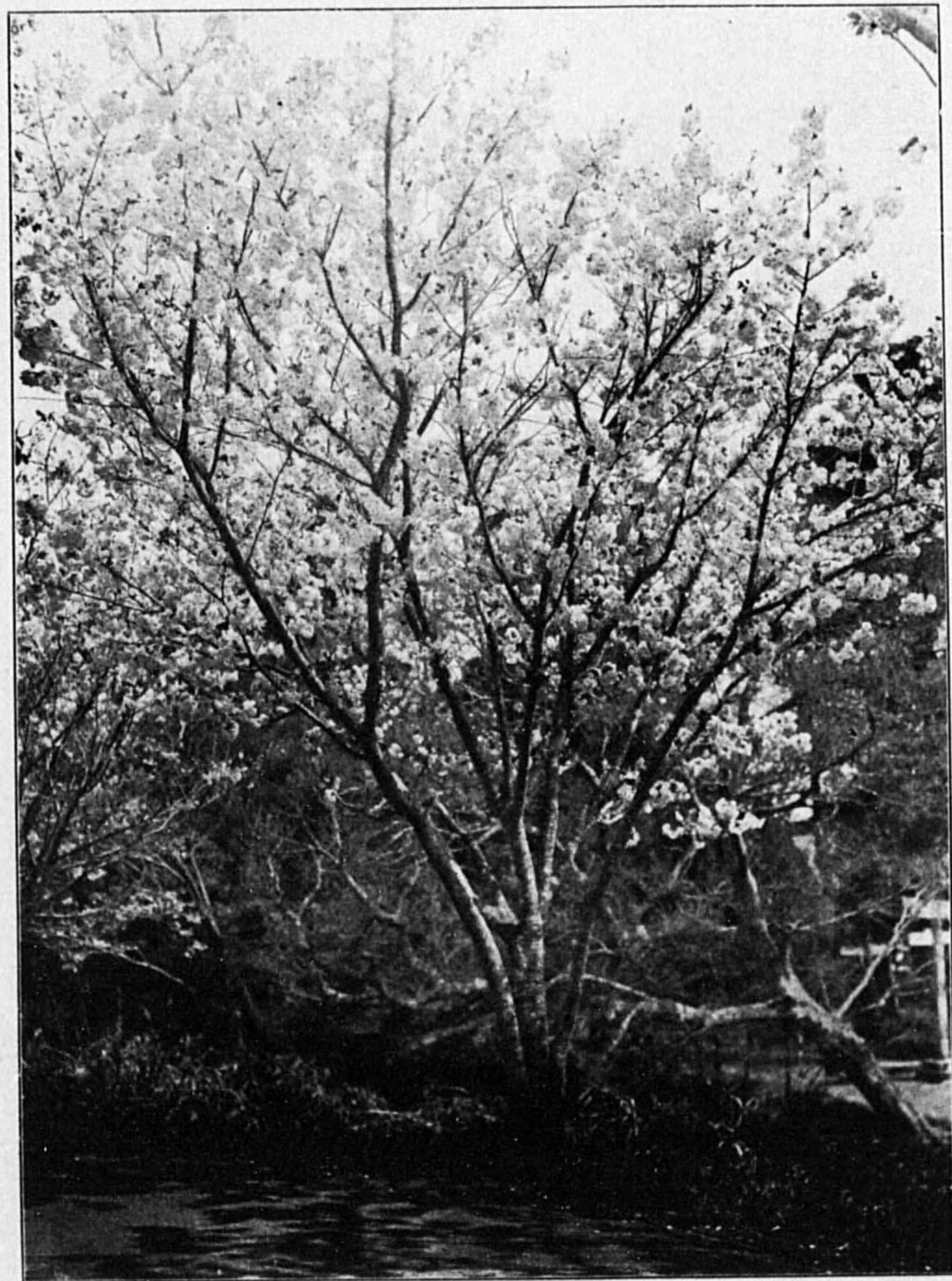
版圖七第



暮 日

眞竈好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒
Prunus serrulata Lindl. f. *amabilis* Miyos.
Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.

版 圖 八 第



寺 輪 法

眞寫好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒
Prunus serrulata Lindl. f. *d. cora* Miyos.
Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.

版 圖 九 第



尾 虎 紅

眞寫好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒

Prunus serrulata Lindl. f. *formosissima* Miyos.

Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.

版圖十第



金 樽

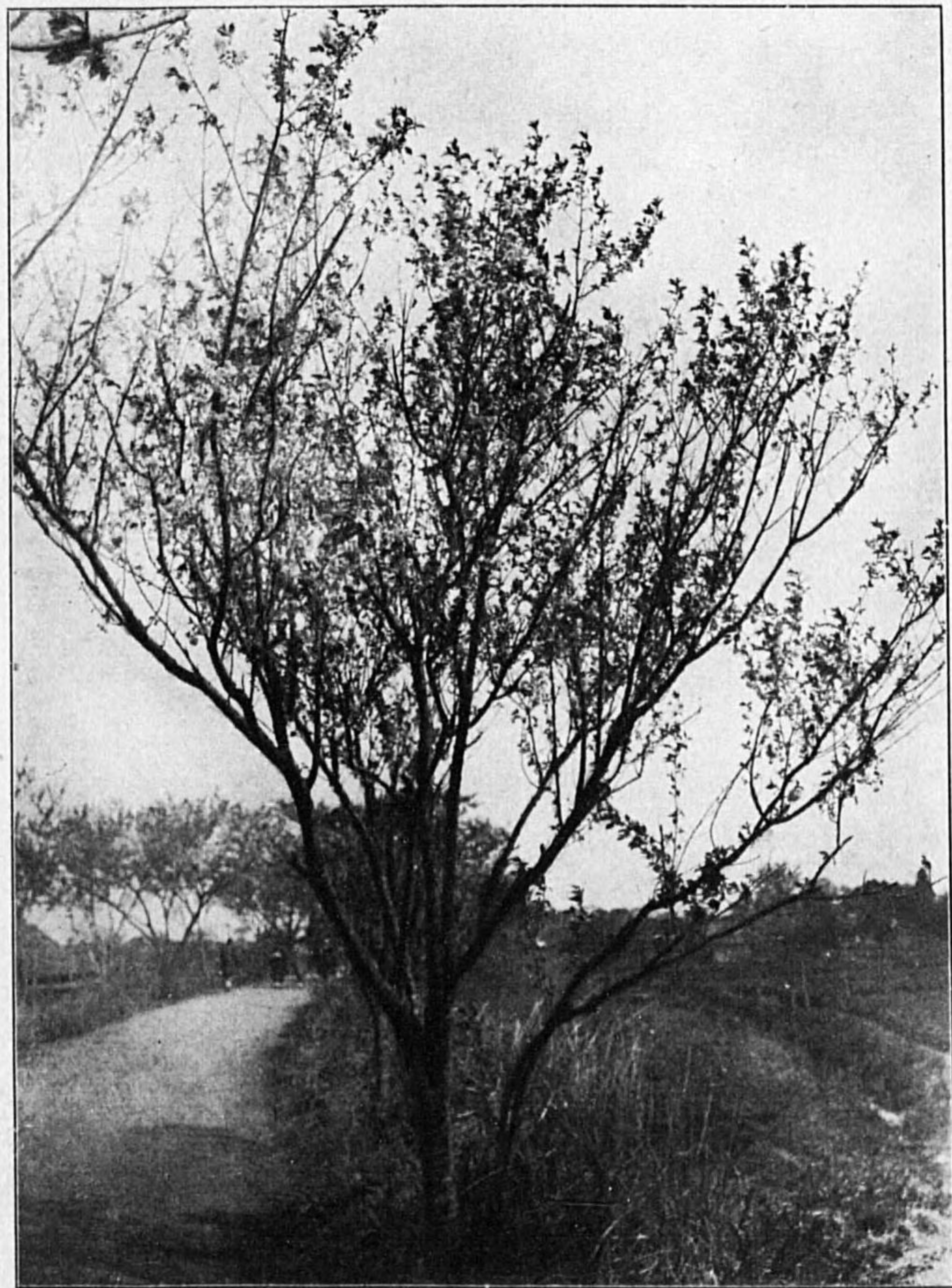
眞寫好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒
Prunus serrulata Lindl. f. *luteo-virens* Miyos.
Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.



匂 瀧

眞寫好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒
Prunus serrulata Lindl. f. *Cataracta* Miyos.
Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.

版圖二十第



櫻 帚

眞寫好三 日三十二月四年十四治明 櫻の堤川荒

Prunus fruticosa Miyoshi.

Arakawa near Tokyo. Miyoshi phot.

版圖三十第



括 絲

Prunus serrulata Lindl. f. *fasciculata* Miyos.

版圖四十第



川の天

Prunus serrulata Lindl. f. *erecta* Miyos.

版圖五十第



山 關

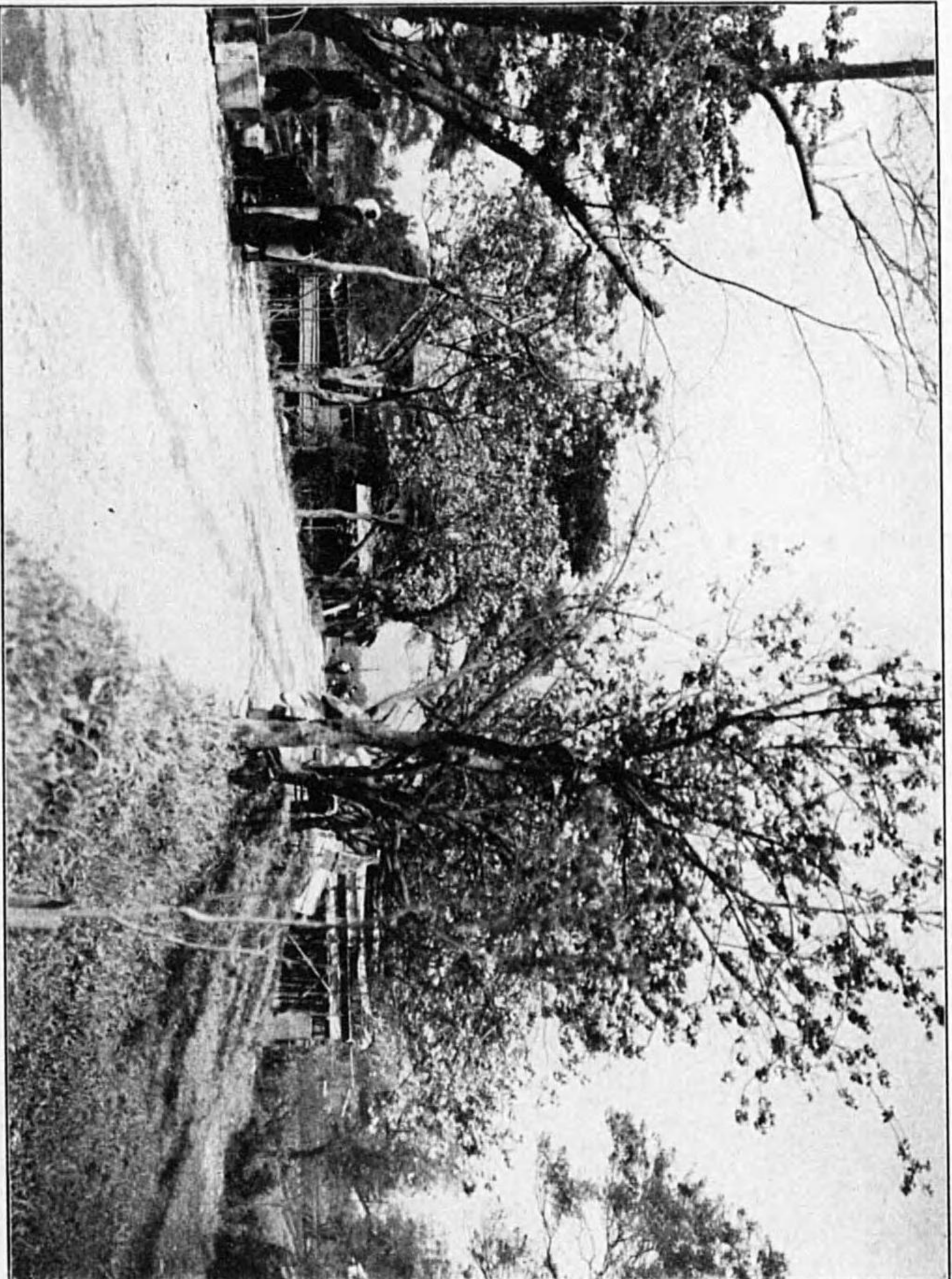
Prunus serrulate Lindl. f. *purpurascens* Miyos.



女 祇

Prunus serrulata Lindl. f. *campanulata* Miyos.

版圖七十第



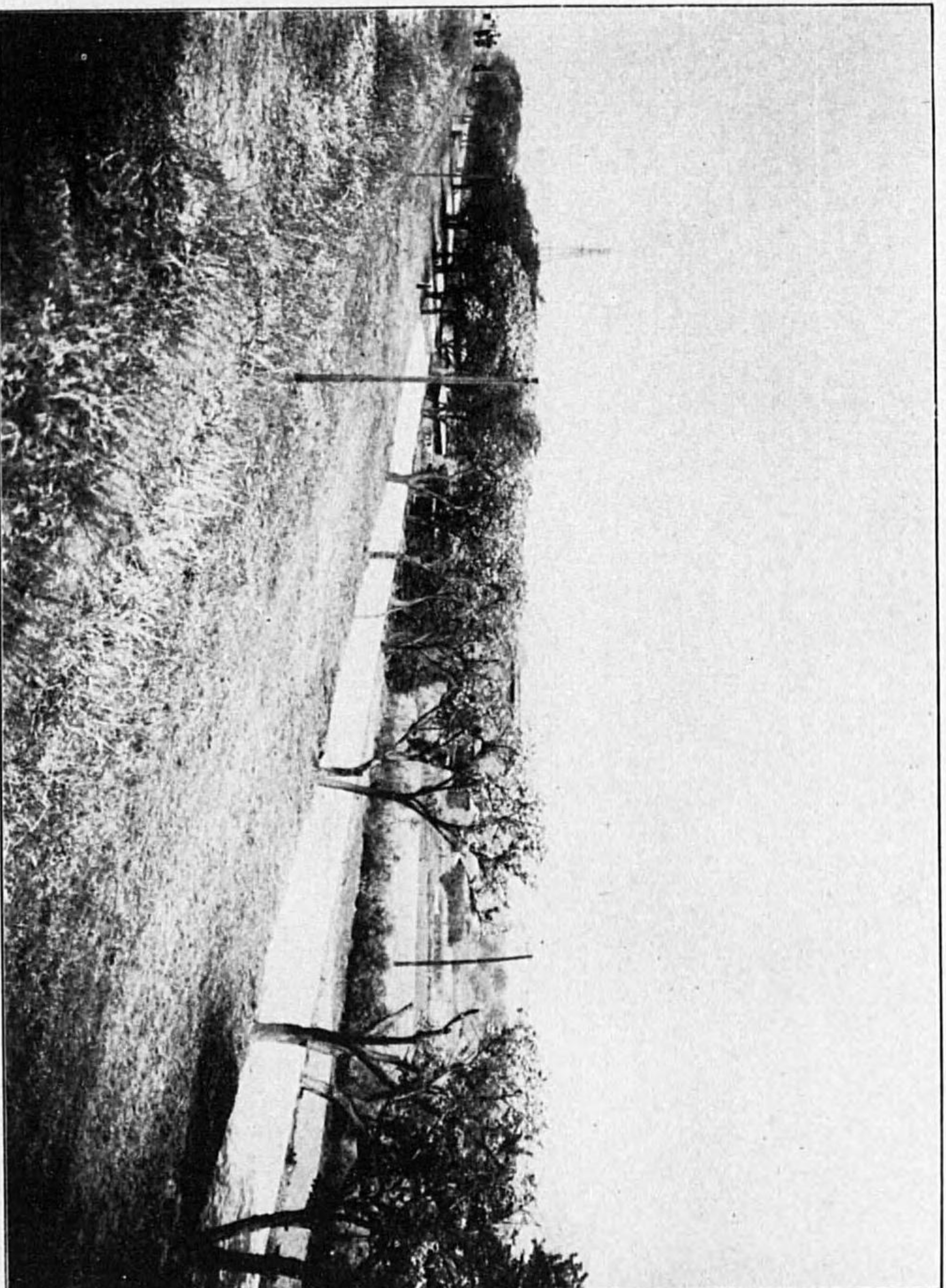
田沼區一帯地定指 櫻の堤川 荒
The Cherry Avenue Reserve, Arakawa near Tokyo.

版圖八十第



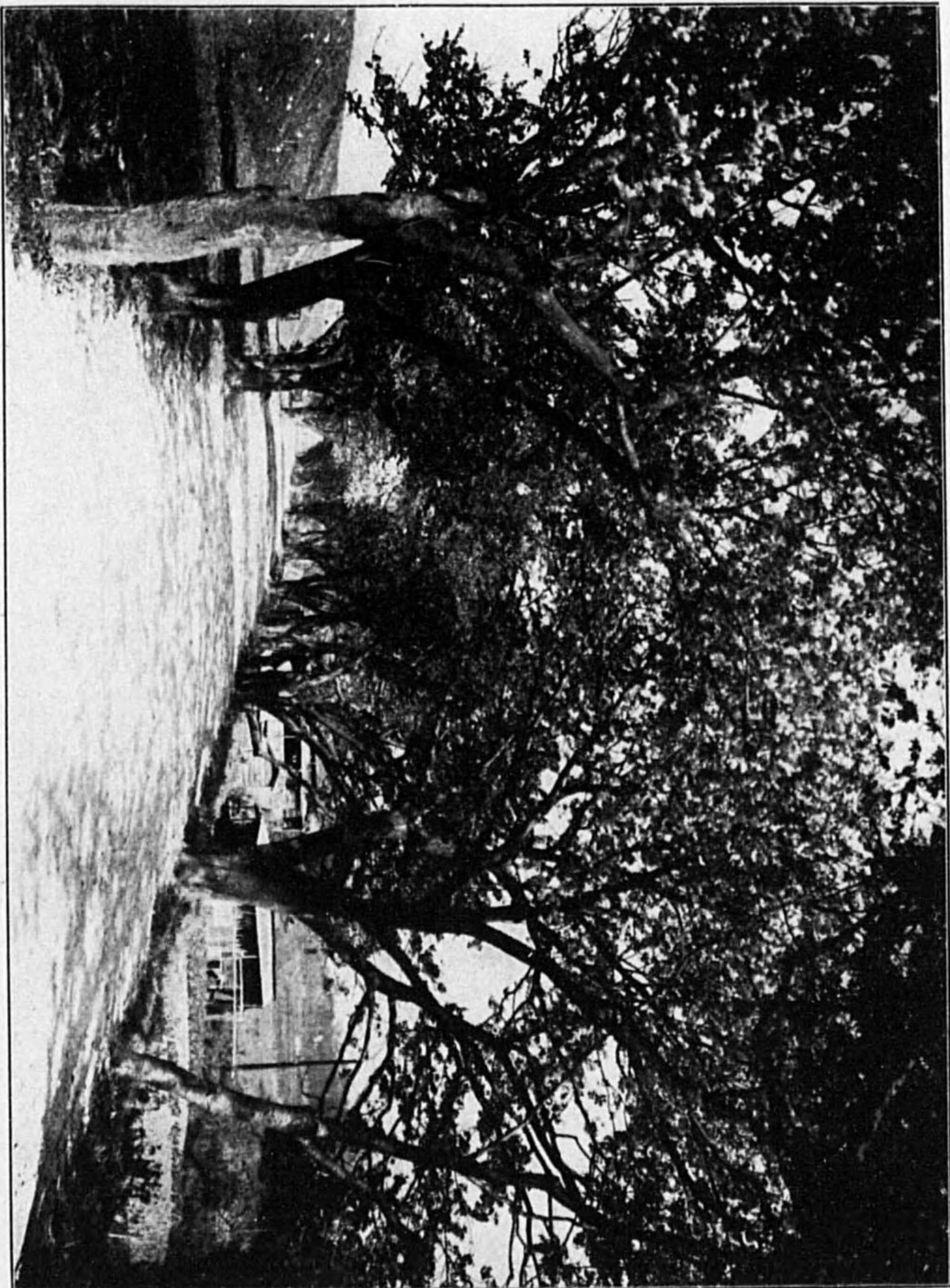
界墳の濱邊・内の堀區二第地定指 櫻の堤川荒
The Cherry Avenue Reserve. Arakawa near Tokyo.

版圖九十第

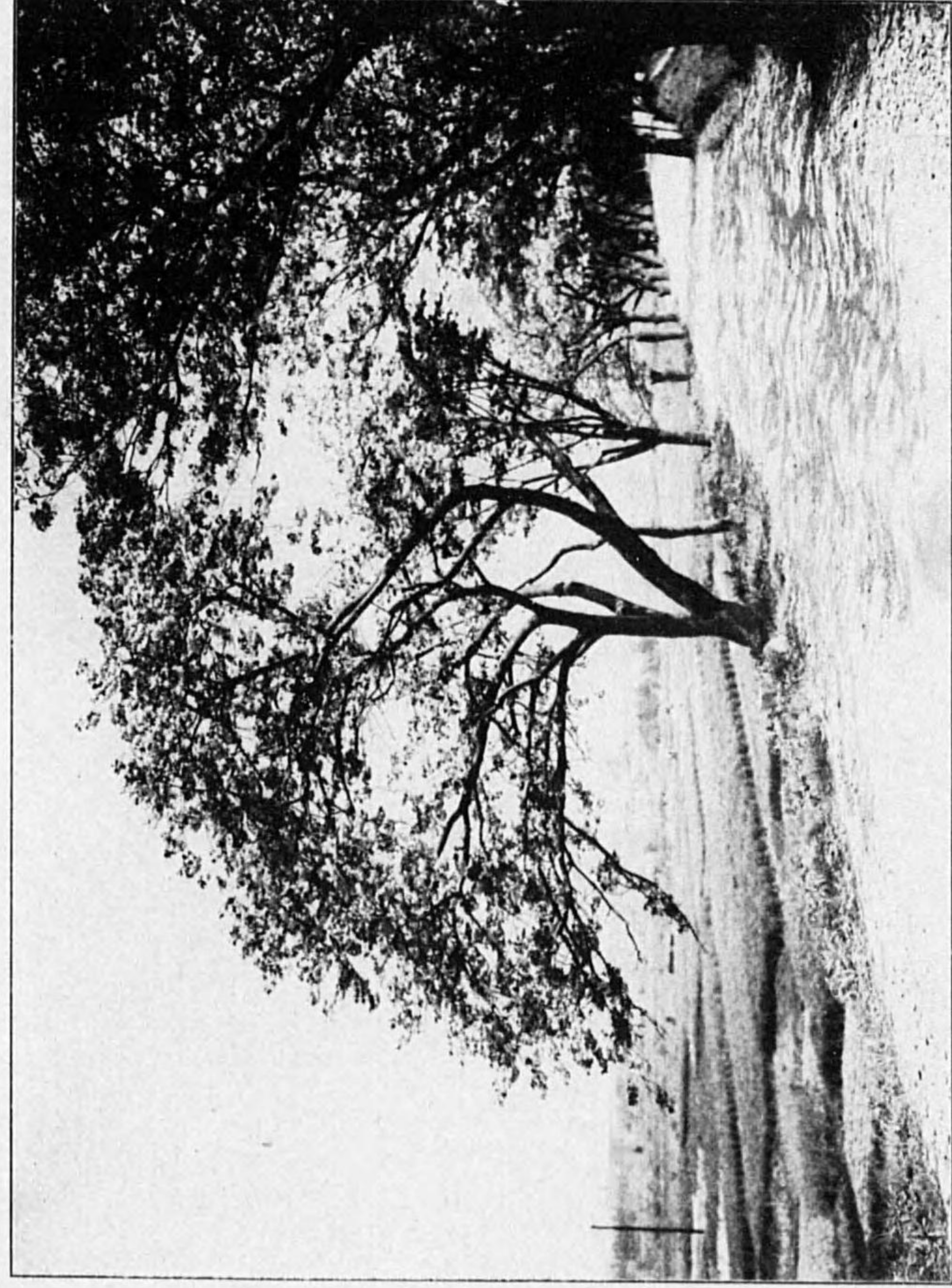


濱鹿區二第地定指 櫻の堤川荒
The Cherry Avenue Reserve. Arakawa near Tokyo.

版圖十二第



瀧鹿原二第地定指 櫻の堤川荒
The Cherry Avenue Reserve. Arakawa near Tokyo.



濱區區三第地定指 標の堤川荒
The Cherry Avenue Reserve. Arakawa near Tokyo.

版圖二十二第



澁鹿區三第定指 櫻の堤川
The Cherry Avenue Reservoir. Arakawa near Tokyo.

昭和六年四月二十五日印刷
昭和六年四月三十日發行

東京市麴町區丸ノ内一丁目一番地

東京府

東京市麴町區飯田町六丁目一番地

印刷者 山本龜太郎

電話九段二七五二番

東京市神田區錦町三丁目二十五番地

印刷所 文成社印刷所

電話神田三四五番

145
76¹

自康定年四月三日
計...

...

1. 5
761

終